

2025年度 町田市立小山田小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和7年3月31日

|            |  |            |             |            |  |
|------------|--|------------|-------------|------------|--|
| 学校教育目標     | ・ すずむ子(重点)   | ・ 思いやりのある子 | ・ しようぶで元気な子 | 学校経営の重点    | 地域と連携した教育活動の推進、学ぶ意欲を大切に学習指導、いじめ見逃し0を目指した生活指導、<br>かかわりあう力を伸ばす特別活動、働き方改革を意識した授業運営  |
| ○目指す学校像    | ……多様な他者とのかかわりを通して、新しい自分に出会える学校   |            |             | 重点目標の成果と課題 | 教育活動における地域との連携は、年間計画に基づいて各学年において円滑に進行でき、年間計画(VOC)の協力は大きかった。今後より積極的、教員2人とのつながりを密に行えるようにしていく。働き方改革の視点では、大きな方策が打ち出せているわけではない。どのような方策が教職員にとって有用なものになるのかをしっかりと吟味しなければならない。学校への問い合わせ電話に対して、1月から留守番電話の切り替え時間を延長したことは具体的な動きとして成果と考える。<開始時刻を18:00から17:30に変更、解除時刻を7:30から7:45に変更> |
| ○目指す児童・生徒像 | ①自己肯定感をもち、自らを大切にできる子供 ②かける喜び、できる喜び・学ぶ喜びを実感できる子供 ③小山田小学校が、小山田のまちが大好きな子供 |            |             |            |  |
| ○目指す教師像    | ……①常に学び続け、子供のために職務に励む教職員 ②保護者・地域との連携を推進し、信頼される教職員                      |            |             |            |  |

| 領域             | 教育プランに基づく経営目標   | 中期・短期経営目標                           | 具体的方策   | 取組指標                                | 平均                    | 評価                    | 成果指標  | ○%  | 評価   | 分析コメント  | 改善策   | 学校関係者評価<br>記入欄  | 評価 |
|----------------|---|-------------------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------|-----------------------|---|---|------|---|---|---|----|
| 社会に開かれた教育課程の実現 | 目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。  | 地域・環境や人材を生かした体験的活動(小山田学習)を企画し、実施する。 | 定期的に学校運営協議会を開催し、教育活動を周知するとともに、学校運営についての意見交換を行う。 | 4. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施     | 3.3                   | B                     | A. 学校評価アンケート①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ | 96.3  | A    | 外部人材を活用した教育活動の推進は年間計画に沿って各学年で順次実施できた。                               | 地域連携教育活動はボランティアコーディネーターとの関わりが大きい。今後も引き続き協力体制を大切にしていきたい。 | 連携した教育課程を十分に活かす。地域に還元される体験活動を増やしていく。そこに子供が興味関心を持てるような意義ある学びが多くなる。 | A  |
|                |   |                                     |   | 2. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施が70%未満     | 4. 必要情報の90%以上を通知・意見交換 | 2. 必要情報の70%以上を通知・意見交換 | 4. 必要情報の70%未満を通知・意見交換                                     | A. 学校評価アンケート①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ | 97.3 | A   | 学校運営協議会年間一回の定例会に加え、学校開閉に関する臨時会も開き、時間設定や内容の充実を図っている。     | 学校運営協議会の運営を円滑に行う。時間設定や内容の充実を図る。ボランティアコーディネーターとの関わりを強化し、情報共有を促進する。 |    |
| 確かな学力の育成       | 子どもが主体的に学び、教師が導く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。 | 子どもが「分かるできる楽しいと自覚できる授業」を展開する。       | 自分の考えを多様な方法で表現させ、協働学習を促す。                       | 1. 学習意欲の向上を図る                       | 2.5                   | C                     | A. 学校評価アンケート①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ | 93.6  | A    | 学習向上は本校における重要な課題であり、今後も取り組んでいく。今後より積極的に授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現していく。 | 授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現していく。                            | 子どもが「分かるできる楽しいと自覚できる授業」を展開する。                                     | A  |
|                |   |                                     |   | 2. 70%以上の授業で実施                      | 3. 80%以上の授業で実施        | 4. 90%以上の授業で実施        | 1. 70%未満の授業で実施  | A. 学校評価アンケート①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ | 98.8 | A   | 授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現していく。                            | 授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現していく。                                      |    |
| 豊かな心の涵養        | 多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。  | 生命を大切にする心、規範意識等を育てる。                | 互いの人権を尊重する姿勢を育てるとともに、いじめの見逃しをゼロにする。             | 1. 道徳科の授業で、道徳的価値に基づいた「自分を振り返る」時間を設定 | 3.3                   | B                     | A. 道徳科の授業で、道徳的価値に基づいた「自分を振り返る」時間を設定                       | 59  | C    | 道徳科の授業のあり方について、振り返る機会をつくり、授業力の向上を図る。                                | 道徳科の授業のあり方について、振り返る機会をつくり、授業力の向上を図る。                    | 生命を大切にする心、規範意識等を育てる。  | B  |
|                |   |                                     |   | 2. 70%以上の授業で実施                      | 3. 80%以上の授業で実施        | 4. 90%以上の授業で実施        | 1. 70%未満の授業で実施  | A. 道徳科の授業で、道徳的価値に基づいた「自分を振り返る」時間を設定                       | 87.4 | A   | 道徳科の授業のあり方について、振り返る機会をつくり、授業力の向上を図る。                    | 道徳科の授業のあり方について、振り返る機会をつくり、授業力の向上を図る。                              |    |
| 健やかな体の育成       | 正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体たたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。                              | 運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、基礎体力の向上を図る。   | 子供の主体的な活動(日常的な活動)を重視する。(委員会・クラブ・たわり班・班活動など)     | 1. 安全指導の徹底を図る                       | 3.9                   | A                     | A. 安全指導の徹底を図る   | 79.3  | B    | 交通安全防止や不審者対応の安全意識、ネットマナーなどの育成                                       | 交通安全防止や不審者対応の安全意識、ネットマナーなどの育成                           | 運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、基礎体力の向上を図る。                                 | A  |
|                |   |                                     |   | 2. 70%以上の授業で実施                      | 3. 80%以上の授業で実施        | 4. 90%以上の授業で実施        | 1. 70%未満の授業で実施  | A. 安全指導の徹底を図る   | 83.1 | A   | 交通安全防止や不審者対応の安全意識、ネットマナーなどの育成                           | 交通安全防止や不審者対応の安全意識、ネットマナーなどの育成                                     |    |
| その他            |   |                                     | 校内の安全な生活環境を整え、パラスのとした安全教育の実施と危機管理体制を確立する。       | 1. 必要情報の90%以上を通知・意見交換               | 4                     | A                     | A. 必要情報の90%以上を通知・意見交換                                     | 100   | A    | 学校生活の公開を通して、保護者や地域社会との連携を促進し、信頼される学校運営とする。                          | 学校生活の公開を通して、保護者や地域社会との連携を促進し、信頼される学校運営とする。              | 校内の安全な生活環境を整え、パラスのとした安全教育の実施と危機管理体制を確立する。                         |    |

|                          |                    |                             |
|--------------------------|--------------------|-----------------------------|
| 取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ) | 成果指標評価基準           | 学校関係者評価の評価基準例               |
| 取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評価A       | 成果指標平均 80%以上 ⇒ 評価A | A ⇒ 取組・成果ともに十分評価できる         |
| 取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評価B    | 成果指標平均 70%以上 ⇒ 評価B | B ⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい |
| 取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評価C      | 成果指標平均 55%以上 ⇒ 評価C | C ⇒ 目標達成には至らなかったが、次年度の改善が必要 |
| 取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D         | 成果指標平均 55%未満 ⇒ 評価D | D ⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善   |

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記していただく。